



## 「動物タンパク神話」の崩壊

第二次世界大戦前までは非常に稀だったガンが、アメリカだけでなく今や日本においても国民病となり、3人に1人を死に追いやる原因となってしまっています。この病気の元凶がこともあろうに、戦後、政府や学校、そして医師や栄養士などが率先してきた「肉や牛乳の摂取」であることを、キャンベル博士は証明していました。博士のメッセージは、「動物性食品はガンの最大の要因」であり、この食習慣を止めれば、ガンばかりか、心臓病・脳梗塞・糖尿病・骨粗しょう症・関節リウマチやほかの様々な自己免疫疾患・アルツハイマー病・白内障・加齢黄斑変性(AMD)など、あらゆる病気を予防し、回復させることができる」ということでした。「動物性食品の摂取と生活習慣病の関係」は、「喫煙と肺がんの関係」以上に密接であることを科学が既に裏付けているにも関わらず、この事実を知る人はごくわずかしかなかった。実はキャンベル博士らが米国政府の依頼を受けて1982年に作成した「食習慣と健康に関する研究レポート」(全米科学アカデミー(NAS)の報告書『食物・栄養とガン』)は、動物性食品の過剰摂取がガンの強力な要因となっていることをすでに明らかにしています。これは、アメリカ人の「食習慣と心臓病」に関する1977年の政府報告書「マクガバン報告」の第二弾と言えるもので、「食習慣とガン」に関する研究レポートでした。この研究レポートで明らかにされた結論は、そのま闇の中に葬られてしまったのです。

医学・栄養学の分野でベストセラーとなっているこの本は、アメリカの医学界や栄養学界を大きく変えようとしています。博士のメッセージを真摯に受け止める人は、生涯メタボリック症候群や生活習慣病とは無縁で、エネルギーに満ち溢れた人生をエンジョイすることができるはず。今までの考え方やライフスタイルをほんの少し「チェンジ」するだけで、ご自身の未来はもとより、ご家族、ご友人、そして社会も、国も、この地球も、きっと大きく変わっていくことでしょう。

「葬られた第二のマクガバン報告」 T・コリンキャンベル著 松田麻美子 訳

## お待たせしました！特醸酵素！

コロナで大変な時期ですが、例年どおり特醸酵素が発売されます。5月21日～7月末までの期間限定販売です。2019年12月21日より価格改定が行われ、2020年の特醸酵素は1本の本体価格が7,200円(7,776円税込)となっております。原材料、箱などの資材、人件費、運賃、その他諸々の費用が高騰しております。ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。



## ～名言集～

病気になってから

「蚊一匹殺していません」「草一つ踏まなくなりました」

「すべての地球の生物に対して同じ命であるという目で見ることになった」

人は「ありがとう」の数だけ賢くなり

「ごめんなさい」の数だけ優しくなり

「さようなら」の数だけ愛を知る



映画監督 大林宣彦さん(尾道出身)